

日米豪防衛関係大臣共同声明
(平成24年6月2日、シンガポール)

(仮訳)

日米豪3か国防衛協力はアジア太平洋地域の安全・安定を支援及び強化してきており、3か国防衛大臣はこの協力関係を継続していくことを確認した。多様な共通の安全保障の課題に対応するため、既存の同盟関係、フォーラム及び対話のネットワークを支援すると
の観点から3か国防衛協力を強化していくこととする。

アジア太平洋地域では、継続的に戦略的環境が発展しており、テロ、海賊、大規模自然災害、武器・麻薬の密輸及び人身売買、サイバー攻撃、宇宙空間、大量破壊兵器及びミサイル技術の拡散及び海上における安全保障・航行の自由の確保といった多様な安全保障の課題に直面している。3か国の防衛大臣は、民主主義という共通の価値観、確立された協力関係、類似する戦略的環境の評価及び国際秩序の安全保障・安定の促進といった共通の目標に基づき、積極的かつ主体的な3か国防衛協力を追求する。

日米豪の防衛大臣は、地域の安全及び繁栄を強化するため、強固で、ダイナミックかつ柔軟な3か国防衛協力を促進する行動計画(アクション・プラン)を作成、発展していく。

外務・防衛当局による戦略的対話を行う定期的フォーラムである日米豪安全保障防衛協力会合(SDCF)は、自衛隊及び米豪軍との相互運用能力の強化、3か国の連携・協力のための能力や関連する技量の構築、他国や地域安全保障枠組みにおける実際的かつ効果的な多国間協力及び能力構築支援を推奨していくための施策を推進するため、関係省庁と連携する。